平成 29 年度

国立情報学研究所
公募型共同研究募集要項

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構

国立情報学研究所

平成２９年度国立情報学研究所公募型共同研究　募集要項

（「＊」項目は昨年度の募集要項からの主な修正項目になりますのでご熟読ください）

１．趣旨

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所（以下「本研究所」という。）は、大学共同利用機関として、わが国の情報学分野での「未来価値創成（学術創成）」を目指し、国内外の大学及び研究機関の研究者との共同研究を推進しています。

近年、情報学には、人と社会に今までにない実価値を生み出す新しい理論、方法論、応用展開（未来価値）が求められています。そのような研究の更なる推進と他の学問分野との連携による研究の開拓を進めるため、本研究所内外の研究者から共同研究を募集します。

２．募集する共同研究の種類

いずれの共同研究の場合も、**本研究所の教員を共同研究者として含むこと**とし、内１名を連絡担当教員（当該共同研究の指導・助言等を行います）として指定して下さい。本研究所の教員情報については、「国立情報学研究所教員情報（別紙１）」をご覧ください。なお、本研究所の教員が申請者の場合は省略できることとします。

また、本共同研究は単年度での実施とします。**本共同研究でスタートアップを切って頂き、**以降のステップアップは**競争的資金**（科学研究費助成事業、各省庁実施の競争的資金、その他財団等の助成金等）**の獲得へ繋げていただきますようお願いいたします。**

本研究所が募集する共同研究は以下の３種類です。

（１）戦略研究公募型【戦略】（年間１５０万円以下）

情報学の動向を踏まえて本研究所が戦略的に設定した研究テーマを選択のうえ、具体的な研究課題を自由に設定して下さい。研究テーマについては、「戦略研究テーマ一覧（別紙２）」をご覧ください。

（２）研究企画会合公募型【会合】（年間８０万円以下）

下記の少なくとも一方を満たす研究課題を自由に設定し、会合（交流会、議論、実習、打合せ等）を実施して下さい。研究課題は情報学研究の枠組に拘らず設定して下さい。

●異分野と情報学との連携

●情報学同士の連携強化

会合は、国立情報学研究所 軽井沢国際高等セミナーハウス（後述参照）にて、共同研究者５名以上で実施することとします。

なお、幅広い検討を行う観点から、類似する研究課題を合同で採択し、会合を実施して頂くことがあります。

（３）自由提案公募型【自由】（年間１００万円以下）

申請者が研究課題を自由に設定し、実施して下さい。

軽井沢国際高等セミナーハウス

本研究所の初代所長である猪瀬博氏の寄附を基に、閑静な軽井沢の地に設立された、学際的で国際的な討論と思索の場です。定員46名のセミナー室と10名が宿泊できる部屋があります。（追加ベッドにより15名まで宿泊可能）

他の共同研究等の会合実施場所としても是非ご活用ください。

住所：長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢字長倉往還南原1052-471

URL：http://www.nii.ac.jp/about/seminar-house/

３．応募資格

① 国内の民間企業等に所属する研究者

② 国内の大学・短期大学・高等専門学校及び大学共同利用機関等に所属する研究者並びにこれらに準ずる研究者

※「研究者」には、企業・大学等の職員、大学院生（社会人学生のみ）も含みます。

※大学院生（社会人学生を除く）、海外機関に所属する方は、共同研究者として参画ください。

４．研究期間

平成２９年４月１日から平成３０年３月３１日まで

５．申請方法

「平成２９年度国立情報学研究所公募型共同研究　申請書（様式１）」を、別添記入要領を参照のうえ作成し、所属長（又は部局長）の承認・押印後に「１５．担当連絡先」へ押印済みの原本（カラー）１部を郵送し、電子データ（Word）をお送り下さい。

なお、申請書の作成にあたっては、**必ず事前に**本研究所の連絡担当教員と研究内容や方法等に関して十分に打合せをして下さい。（連絡担当教員が不明な方は「１５．担当連絡先」にご相談ください。）

※申請書に記載した個人情報は本共同研究の管理に係る業務でのみ利用します。
ただし、個人を識別できない状態に加工した統計資料等に利用することがあります。

６．申請書の提出期限

平成２８年１２月１９日（月）（電子データ：必着、郵送：消印有効）

７．選考方法及び選考結果の通知

本研究所運営会議の審議を経て所長が決定します。選考にあたって、ヒアリングを実施する場合があります。ヒアリングに係る旅費は支給されません。選考は平成２９年３月までに行い、選考結果を申請者及び申請者の所属長宛に通知します。なお、申請書は返還しませんのでご了承ください。

＊８．共同研究経費

共同研究者間の連携強化、研究成果及び情報収集の充実に重点を置き、各公募型共同研究の目的に合わせ、共同研究経費の使用は下記の通りとします。

※複数の共同研究経費や他の競争的資金を合算して使用はできません。

※共同研究経費の管理及び執行は、本研究所の連絡担当教員が行います。

※旅費は、往復の交通費、日当、宿泊費を含み、本研究所の規程に従い支払われます。

（１）戦略研究公募型【戦略】（年間１５０万円以下）

旅費、学会参加に係る経費、論文投稿料等の３点に限定します。

（２）研究企画会合公募型【会合】（年間８０万円以下）

軽井沢国際高等セミナーハウスでの会合に伴う旅費に限定します。

（３）自由提案公募型【自由】（年間１００万円以下）

旅費、学会参加に係る経費、論文投稿料等の３点に限定します。

９．研究成果の取扱

共同研究の実施に伴い生じた知的財産権については、原則として共有とし、貢献度に応じて持分を決めます。詳細は、特許等の出願（外国に対する出願を含む）に先立ち共同出願契約にて取決めを行います。

＊１０．研究成果報告

共同研究終了後の平成３０年６月２３日（金）までに、「平成２９年度国立情報学研究所公募型共同研究　成果報告書（様式２）」を「１５．担当連絡先」に電子データ（Word）にて提出して下さい。なお、様式２は変更される可能性があります。提出された報告内容は、本研究所のWebページや年報に掲載するほか、広報誌等にも掲載することがあります。

※本共同研究はスタートアップのため、以降のステップアップとして競争的資金の応募・獲得へ繋げていただきたく、状況を成果報告書に記載いただくこととします。

＊１１．研究成果の論文及び外部発表

研究成果を本研究所以外に発表する場合は、３０日前までに本研究所の同意を得て、本研究所との共同研究によるものであることを**論文等内に明示して**下さい。発表内容は、申請書（様式１）「申請者研究業績」と同形式で「１５．担当連絡先」まで提出して下さい。

【文例（日本語）】

「この研究は平成２９年度国立情報学研究所公募型共同研究の助成を受けています」

【文例（英語）】

“The research funded for / supported by the open collaborative research at National Institute of Informatics (NII) Japan (FY2017).”

１２．秘密保持義務

共同研究の実施に伴い生じた研究成果及び研究所から開示を受け又は知り得た情報については、既に自己が保有していた又は既に公知となった情報、開示を受け又は知得した後に自己の責めによらず公知となった情報、本研究所から同意を得た情報を除き共同研究終了後２年間秘密を保持しなければなりません。

なお、より詳細な取り決めが必要な場合は、別途協議します。

＊１３．年度途中における申請

平成２９年度途中において、経費配分のない枠組みとしての本共同研究の申請を受け付けます。この申請は、本研究所内における審議を経て採択が決定されます。

１４．その他

申請書に記載した内容の一部に誤りがある場合、また、共同研究者としての協調性を欠く場合には、採択の決定後といえども本研究所の判断により、当該共同研究を中止または共同研究者の受入を中止することがありますので、あらかじめご了承下さい。

１５．担当連絡先

本共同研究の詳細についての問合せ、申請書の提出、研究成果論文・発表内容の連絡、報告書の提出は下記の連絡先へお願いいたします。

【連絡先】

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

国立情報学研究所 総務部 企画課 社会連携推進室 連携支援チーム 公募担当

TEL：03-4212-2170　　e-mail：kyoudou@nii.ac.jp

募集要項及び申請書等の様式は、本研究所Webページからダウンロードできます。

URL：http://www.nii.ac.jp/research/collaboration

別紙１

国立情報学研究所教員情報

研究所の教員は、情報学プリンシプル研究系、アーキテクチャ科学研究系、コンテンツ科学研究系、情報社会相関研究系のいずれかに属しています。各教員の研究内容詳細については、研究者紹介の Web ページ（http://www.nii.ac.jp/faculty/）をご確認ください。

【情報学プリンシプル研究系　18名】

	研究者名	専門分野 研究者紹介 URL	e-mail ﾄﾞﾒｲﾝはいずれも @niii.ac.jp
1	井上　克巳 教授	知能情報学 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/inoue_katsumi/	inoue
2	宇野　毅明 教授	数理計画、離散アルゴリズム、データ構造、組合せ最適化 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/uno_takeaki/ 【研究紹介映像あり】	uno
3	河原林　健一 教授 （ビッグデータ数理国際研究センター長）	離散数学におけるグラフ彩色問題、グラフ構造理論とアルゴリズム、ネットワークフローとパス問題 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/kawarabayashi_kenichi/ 【研究紹介映像あり】	k_keniti
4	佐藤　健 教授 （研究主幹）	人工知能基礎 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/satoh_ken/	ksatoh
5	武田　英明 教授	人工知能、設計学 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/takeda_hideaki/	takeda
6	龍田　真 教授	理論計算機科学、数理論理学 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/tatsuta_makoto/	tatsuta
7	根本　香絵 教授 （量子情報国際研究センター長）	量子情報・計算、量子力学基礎論、量子光学 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/nemoto_kae/	nemoto
8	速水　謙 教授	数値解析、数理工学 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/hayami_ken/	hayami
9	市瀬　龍太郎 准教授	情報工学 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/ichise_ryutaro/	ichise
10	稲邑　哲也 准教授	ヒューマン・ロボット・インタラクション、確率的情報処理、行動認識、対話学習 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/inamura_tetsunari/ 【研究紹介映像あり】	inamura
11	宇都宮　聖子 准教授	光半導体を用いた量子シミュレーション、光半導体の量子物性 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/utsunomiya_shoko/	shoko
12	小野　順貴 准教授	信号処理、パターン認識、マイクロフォンアレイによる音源定位・音源分離、音声・音楽信号の分析・加工、音楽情報検索 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/ono_nobutaka/	onono
13	金沢　誠 准教授	数理言語学、論理学、意味論 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/kanazawa_makoto/	kanazawa

14	岸田　昌子　准教授	制御理論、最適化 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/kishida_masako/	kishida
15	松本　啓史　准教授	量子統計推測、量子情報、量子計算、情報幾何、学習理論 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/matsumoto_keiji/	keiji
16	吉田　悠一　准教授	性質検査、準線形時間アルゴリズム、制約充足問題、近似アルゴリズム http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/yoshida_yuichi/	yyoshida
17	岩田　陽一　助教	厳密アルゴリズム、パラメータ化計算量、現実の入力に対するアルゴリズム http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/iwata_yoichi/	yiwata
18	小林　亮太　助教	データマイニング、計算論的神経科学、機械学習 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/kobayashi_ryota/	r-koba

【アーキテクチャ科学研究系　21名】

	研究者名	専門分野 研究者紹介 URL	e-mail ﾄﾞﾒｲﾝはいずれも @niii.ac.jp
1	本位田　真一　教授 （副所長、先端ソフトウェア工学・国際研究センター長）	エージェント技術、ソフトウェア工学、ユビキタスコンピューティング http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/honiden_shinichi/	honiden
2	合田　憲人　教授 （クラウド基盤研究開発センター長）	並列計算、グリッドコンピューティング、スケジューリング http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/aida_kento/	aida
3	漆谷　重雄　教授 （学術基盤推進部長、学術ネットワーク研究開発センター長）	ネットワークアーキテクチャ、ハイエンドネットワークシステム http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/urushidani_shigeo/	urushi
4	計　宇生　教授	情報通信工学 http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/ji_yusheng/	kei
5	胡　振江　教授	プログラミング言語、ソフトウエア工学、並列プログラミング http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/hu_zhenjiang/ 【研究紹介映像あり】	hu
6	五島　正裕　教授	コンピュータアーキテクチャ、ディジタル回路技術 http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/goshima_masahiro/	goshima
7	佐藤　一郎　教授 （所長補佐）	分散システム、プログラミング言語、ネットワーク http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/satoh_ichiro/	ichiro
8	高倉　弘喜　教授 （サイバーセキュリティ研究開発センター長）	サイバーセキュリティ、ネットワーク http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/takakura_hiroki/	takakura
9	中島　震　教授	分散ソフトウェア工学 http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/nakajima_shin/	nkjm

10	橋爪　宏達　教授	システム工学	has
		http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/hashizume_hiromichi/	
11	米田　友洋　教授 （研究主幹）	非同期式システム、リアルタイムシステムの設計・検証	yoneda
		http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/yoneda_tomohiro/	
12	阿部　俊二　准教授 （先端 IC センター長）	情報通信	abe
		http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/abe_shunji/	
13	金子　めぐみ　准教授	無線通信工学、無線資源割当、移動体通信システムのためのプロトコル設計	megkaneko
		http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/kaneko_megumi/	
14	栗本　崇　准教授	通信ネットワークアーキテクチャ、システムアーキテクチャ	tkurimoto
		http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/kurimoto_takashi/	
15	鯉渕　道紘　准教授	相互結合網、オンチップインタコネクト、ネットワークオンチップ、並列処理、システムエリアネットワーク、PC クラスタ、デッドロックフリールーティング、計算機アーキテクチャ	koibuchi
		http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/koibuchi_michihiro/ 【研究紹介映像あり】	
16	竹房　あつ子　准教授	並列・分散処理、クラウド基盤技術、インタークラウド技術	takefusa
		http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/takefusa_atsuko/	
17	鄭　顕志　准教授	分散コンピューティング、ソフトウェア工学、ネットワーク	tei
		http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/tei_kenji/	
18	福田　健介　准教授	コンピュータネットワーク、時系列解析、ネットワーク科学	kensuke
		http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/fukuda_kensuke/	
19	吉岡　信和　准教授	エージェント指向ソフトウェア工学、エージェントアーキテクチャ、セキュリティソフトウェア工学	nobukazu
		http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/yoshioka_nobukazu/	
20	坂本　一憲　助教	ソフトウェア工学、プログラミング言語、プログラミング教育	exkazuu
		http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/sakamoto_kazunori/	
21	対馬　かなえ　助教	プログラミング言語	k_tsushima
		http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/tsushima_kanae/	

【コンテンツ科学研究系　32名】

	研究者名	専門分野 研究者紹介 URL	e-mail ﾄﾞﾒｲﾝはいずれも @niii.ac.jp
1	安達　淳　教授 （副所長、サイバーフィジカル情報学国際研究センター長）	情報工学 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/adachi_jun/	adachi
2	相澤　彰子　教授 （所長補佐、知識コンテンツ科学研究センター長）	情報工学、知識工学 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/aizawa_akiko/	aizawa
3	越前　功　教授	メディアセキュリティ、メディア情報処理、情報ハイディング http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/echizen_isao/	iechizen

4	大山　敬三　教授 （データセット共同利用研究開発センター長）	情報システム、情報検索、Web 情報処理 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/oyama_keizo/	oyama
5	佐藤　いまり　教授	コンピュータビジョン、コンピュータグラフィックス、イメージ・ベースド・モデリング・レンダリング、複合現実感 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/sato_imari/	imarik
6	佐藤　真一　教授 （研究主幹）	情報学 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/satoh_shinichi/	satoh
7	杉本　晃宏　教授	コンピュータビジョン、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション、アルゴリズム、類似画像検索 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/sugimoto_akihiro/	sugimoto
8	高須　淳宏　教授	データ工学 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/takasu_atsuhiro/	takasu
9	高野　明彦　教授	並列連想計算方式の研究連想に基づく情報空間との対話技術の研究 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/takano_akihiko/	aki
10	プレンディンガー ヘルムト　教授	擬人化キャラクタ、マルチメディア、マルチモーダルプレゼンテーションシステム、生理的相互システム http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/prendinger_helmut/	helmut
11	山田　誠二　教授	人工知能、WWW での情報収集、対話的知能ロボット http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/yamada_seiji/	seiji
12	相原　健郎　准教授	情報工学（ヒューマン・コンピュータ・インタラクション） http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/aihara_kenro/	kenro.aihara
13	アンドレス フレデリック　准教授	分散マルチメディアデータベースシステム、セマンティック管理システム http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/andres_frederic/	andres
14	石川　冬樹　准教授	サービス指向コンピューティング、ソフトウェア工学 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/ishikawa_fuyuki/	f-ishikawa
15	大向　一輝　准教授	セマンティック Web、情報・知識共有、コミュニティ支援 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/omukai_ikki/	i2k
16	片山　紀生　准教授	計算機科学、情報工学(データベースシステム) http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/katayama_norio/	katayama
17	金澤　輝一　准教授	情報工学（情報検索） http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/kanazawa_teruhito/	tkana
18	北本　朝展　准教授	画像解析、画像データベース、パターン認識、データマイニング、メテオインフォマティクス、コンピュータグラフィクス http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/kitamoto_asanobu/	kitamoto
19	児玉　和也　准教授	情報工学 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/kodama_kazuya/	kazuya
20	チョン　ジーン　准教授	電子工学 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/cheung_gene/	cheung
21	坊農　真弓　准教授	社会言語科学、会話情報学、手話学 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/bono_mayumi/ 【研究紹介映像あり】	bono

22	宮尾　祐介　准教授	自然言語処理、計算言語学 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/miyao_yusuke/	yusuke
23	山岸　順一　准教授	音声情報処理、音声インタラクション、音声を利用した福祉情報工学 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/yamagishi_junichi/	jyamagis
24	山地　一禎　准教授	学術コンテンツのメタデータ化と共有に関する研究、学術コミュニティ形成プラットフォームに関する研究 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/yamaji_kazutsuna/ 【研究紹介映像あり】	yamaji
25	レイ　ユイ　デン 准教授	情報学 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/le_duydinh/	ledduy
26	安東　遼一　助教	コンピューターグラフィックス http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/ando_ryoichi/	rand
27	加藤　弘之　助教	データ工学 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/kato_hiroyuki/	kato
28	込山　悠介　助教	セマンティック Web、バイオインフォマティクス http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/komiyama_yusuke/	komiyama
29	高山　健志　助教	コンピュータグラフィクス、ユーザインタフェース http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/takayama_kenshi/	takayama
30	鄭　銀強　助教	情報学、知覚情報処理、コンピュータビジョン http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/zheng_yinqiang/	yqzheng
31	孟　洋　助教	情報工学 http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/mo_hiroshi/	mo
32	ユ　イ　助教	マルチメディアコンテンツ解析、マルチメディアサービス、マルチメディアデータマイニング http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/yu_yi/	yiyu

【情報社会相関研究系　１１名】

	研究者名	専門分野 研究者紹介 URL	e-mail ﾄﾞﾒｲﾝはいずれも @niii.ac.jp
1	新井　紀子　教授 （社会共有知研究センター長）	遠隔教育（システム開発、教育）、数理論理学 http://www.nii.ac.jp/faculty/society/arai_noriko/	arai
2	神門　典子　教授	情報アクセス（情報検索システムの評価、テキスト構造・ジャンル・リンクの分析、インタラクティブ情報アクセスシステム、文化遺産アーカイブの教育目的応用、情報活用支援システム、言語横断アクセス） http://www.nii.ac.jp/faculty/society/kando_noriko/	kando
3	曽根原　登　教授 （研究主幹）	情報流通システム工学、デジタルメディア工学 http://www.nii.ac.jp/faculty/society/sonehara_noboru/	sonehara
4	岡田　仁志　准教授	電子通貨体制論、地域情報政策論、電子商取引論 http://www.nii.ac.jp/faculty/society/okada_hitoshi/ 【研究紹介映像あり】	okada

5	後藤田　洋伸 准教授	コンピュータ・グラフィックス	gotoda
		http://www.nii.ac.jp/faculty/society/gotoda_hironobu/	
6	孫　媛 准教授	ビブリオメトリックス、心理統計学	yuan
		http://www.nii.ac.jp/faculty/society/sun_yuan/	
7	西澤　正己 准教授	計量情報学、情報システム学、宇宙線物理学	nisizawa
		http://www.nii.ac.jp/faculty/society/nishizawa_masaki/	
8	船守　美穂 准教授	高等教育研究、情報社会学、計量情報学	funamori
		http://www.nii.ac.jp/faculty/society/funamori_miho/	
9	水野　貴之 准教授	ビックデータによる経済・社会現象の統計分析とモデル構築、予測と制御、経済物理学	mizuno
		http://www.nii.ac.jp/faculty/society/mizuno_takayuki/	
10	植木　浩一郎 助教	ニューラルネットワーク、遺伝的アルゴリズム	ueki
		http://www.nii.ac.jp/faculty/society/ueki_kouichirou/	
11	古川　雅子 助教	教育工学	furukawa
		http://www.nii.ac.jp/faculty/society/furukawa_masako	

別紙２

戦略研究テーマ一覧

1. SINET5 上での新サービス・新基盤機能の実験・検証

平成 28 年度より運用を開始した SINET5 では、全国的に 100 ギガ回線が整備され、全国の大学等のネットワーク環境が格段に向上した。この高度な環境を活用した全国的な連携の枠組みの加速・支援に資する、超高速ネットワークを活用した新しいアプリケーション・サービスならびに先端基盤機能の実験・検証に関する提案を募集する。例えば、大規模データ転送等を特徴とするコンテンツ共有基盤機能、先端クラウド機能（インタークラウド、スパコン連携、管理運用技術等）、先端セキュリティ機能（攻撃解析、マルウェア解析、被害緩和等）の実験・検証等があげられる。

2. 次世代学術情報基盤のための革新的アーキテクチャ

オープンサイエンス、大規模オンライン教育、サイバーセキュリティ、クラウドコンピューティング、超高速・高機能ネットワークなどの大学等の研究・教育環境の高度化に寄与するような分野において、簡便な実験データ格納サービスや、データドリブンサイバーセキュリティ等　新たなサービスの提案、サービスの迅速・柔軟な提供や経済化等に関する提案を募集する。

3. アルゴリズミックシステムにおける諸課題への挑戦

社会においては多様なデータに基づく一見平等ともみえるシステムが数多く利用されるに至っている。一方このようなシステムは与えられるデータに強く依存しバイアスがみられる場合も指摘されるに至っている。アルゴリズミックシステムに対する質保証をはじめ、諸課題について整理するとともに、それに対する方法論に関する研究に期待する。

4. 超巨大システムのためのアルゴリズム

CPS（Cyber Physical System）の今後の進展を想定し、現実の巨大システムにおけるビッグデータの処理を超高速・高効率に行なうアルゴリズムの理論、および、工学技術に関する研究開発を募集する。また、これらのアルゴリズムを用いた CPS システム構築に関する研究開発も含む。

5. 社会の活動の分析、予測、知的支援などを実現する研究開発（オープンデータや社会データのマイニングなどを含む）

IT 社会においては社会のすべての活動はデータ化されている。さらには社会がデータに基づいて動くようになっている。このような社会の基盤となる巨大かつ多様なデータの本質を理解し、その有効な活用方法の発見と社会制度設計を行うための、社会データ駆動の政策決定支援システム科学を創成する。また、地方自治体と大学や企業との協働による社会データ基盤技術の社会実装を通し、社会データ活用人材育成に挑戦する。

6. ICT 基盤を変革させるシステム要素技術

ICT 基盤を進化させる技術の研究開発は、学術界全体にとって極めて重要である。IoT 時代のネットワークやセキュリティ、エッジコンピューティング等の未来を支える革新的なアーキテクチャや制御技術等、ならびにこれらのディペンダビリティを達成する技術の研究開発等を対象とする。

7. 人間・社会研究データのポリシーとコンプライアンス管理共同利用基盤

国際・社会産学共同研究や学際・融合研究では、様々な専門分野の研究倫理、守秘義務、利益相反、知財管理、研究成果公開基準、個人情報保護規則、情報セキュリティポリシー、個人データ管理などポリシーとコンプライアンスの共通管理が求められる。本共同研究では、学認の認証・認可機構や非同期 Web 型審査サービスなどを用い、人間・社会研究・調査データのポリシーとコンプライアンス・マネージメント基盤を研究する。

8. オリンピックのための IT

オリンピック／パラリンピックを開催する上で、IT による支援は不可欠であると同時に、東京という巨大都市の社会インフラに寄与する新しい技術が必要となる。例えば(1)パラリンピックでは障がい者が選手・観客として参加するが、障がいの種類／程度は多様であり、それに応じた支援（例えばナビゲーション他）は必ずしも技術が進んでおらず、その技術確立は、開催中はもちろん、高齢者や障害者が不自由なく住める高度ユニバーサル社会の実現に寄与する。(2)オリンピック時に課題となり得る様々なテーマ（人流・物流の高次化ならびにリアルタイム最適化、サイバーならびにノンサイバーセキュリティ、日本文化の発信の高度化、超高密度 wifi、都市の新しいあり方等）に対し、先進的なＩＴを駆使することによるソリューションの提案を募集する。

9. 教育と IT

学校現場へのタブレット端末、MOOCs など、教育における IT 利活用が活発化し、新しいネット教育・学習の提供と支援方法の確立が求められている。eLearning における教育や学習活動が生成する多様な学習・教育データを利用し、個々の学習者の学習状態・進捗の診断、動機付けや学習方略の把握、個別化されたフィードバックの提供手法など、個々人に最適化した学習支援を実現する革新的技術を研究開発する。

10. 仮想通貨社会とブロックチェーン技術に関する共同研究

ブロックチェーンは価値・所有権の転々流通の電子化を実現する技術であり、さまざまな領域における応用と社会的コストの削減が期待されている。そこで，ブロックチェーンに対する正確な理解を深め，社会システムへの応用可能性を検証するための実証的な研究を行う。

11. 大学評価と IR に関する共同研究

大学の多様性や多面性を表現し、21 世紀の高等教育の活路となる大学評価や IR はどのようなものかを明らかにするため、大学情報のあり方や収集のための技術開発、データ分析の手法開発などを研究する。

「平成２９年度国立情報学研究所公募型共同研究　申請書（様式１）」の記入要領

申請書内に記載されたグレーの文字は削除し、黒字にて読みやすい文字サイズで記載して下さい。

【申請者】

（１）所属機関等名称は、学部等や所属部局等まで記入して下さい。
（２）年齢は、平成２９年４月１日現在で記入して下さい。

【１．研究テーマおよび研究課題】

（１）公募型の区分（「戦略」、「会合」、「自由」）から１つ選び■で示して下さい。
（２）「戦略」の場合は「戦略研究テーマ一覧（別紙２）」から研究テーマを選び、テーマ番号およびテーマ名記入して下さい。
（３）　研究課題を簡潔に（５０字程度）記入して下さい。

【２．研究・会合の実施方法、内容等】

（１）各欄に指示された内容について、具体的に記入して下さい。

【３．他の助成状況】

（１）本研究課題に関連して、科研費等の他へ申請しているものや採択されているものがある場合は、その内容（助成機関、制度名、助成額、課題名等）を記入して下さい。

【４．所属長の承諾】

（１）あらかじめ申請者の所属長（学長・学部長・研究科長等）の承諾を得て、所属長役職・氏名を記入し、押印して下さい。本研究所の教員が申請者になる場合は省略できます。

【５．申請者の研究業績】（過去５年間程度）

（１）共同研究に関連する主な論文について、論文名、発表誌名、巻号及び発表年月、査読の有無、を新しいものから順に記入して下さい。発表誌が電子ジャーナルの場合はDOIもしくはURL、冊子体の場合は掲載ページまで記入して下さい。印刷物は不要です。
（２）共同研究に関連する主な学会等の発表について、発表タイトル、会議名、発表年月を記入して下さい。プログラム等の発表情報がWebページに掲載されている場合はURLを記入して下さい。
（３）論文及び学会発表がない場合は、関連業務従事歴等について記入して下さい。

【６．共同研究経費】

（１）「戦略」「自由」は、「旅費」「学会参加に係る経費」「論文投稿料等」に分けて記入して下さい。
（２）「会合」は、軽井沢国際高等セミナーハウスでの会合に伴う「旅費」のみとなります。

【７．共同研究者】

（１）共同研究者欄には、本研究所の教員を含めて記入して下さい。事前に本研究所の教員と打合せ、連絡担当教員を決め、氏名の前に○印を付けて下さい。
（２）本研究所以外の共同研究者については、各共同研究者の所属長が当該共同研究への参加を承知していることを確認したうえで記入して下さい。

様式１

平成２９年度国立情報学研究所公募型共同研究　申請書

平成　　年　　月　　日

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構
国立情報学研究所長　殿

［申請者］

所属機関等住所	〒○○○－○○○○ ○○県○○市･･･		
所属機関等名称	*学部や部局まで記入して下さい。* ○○大学○○学部･･･		
職名	教授／研究員／･･･		
フリガナ	○○○　○○○	性別	男／女
氏名	○○○　○○○　　印	年齢	XX 歳 H29.4.1 現在
電話	○○－○○○○－○○○○		
E-mail	xxxxx@xxxxxxxx		

「平成２９年度国立情報学研究所公募型共同研究　募集要項」に記載された条件に従って、下記のとおり研究課題を申請します。

1.　研究テーマおよび研究課題

区分	番号	研究テーマ名
□戦略 □会合 □自由	*戦略のみ、テーマ番号を記入ください。*	*戦略のみ、選択したテーマ名を記入して下さい。*
研究課題		
戦略は上記テーマをもとに、会合及び自由は申請者ご自身で、設定した研究課題を記入して下さい。（５０字程度）		

2. 研究・会合の実施方法、内容等　*記載欄及びページ数は適宜増やして構いません。*

研究・会合の目的	*研究・会合の目的を、具体的に記入して下さい。*
研究・会合の 実施方法及び内容	*研究・会合実施方法及び内容について、具体的に記入して下さい。* *会合につきましては、どのような点で情報学との連携を希望するのかも記入して下さい。*
研究・会合の 新規性、独自性	*本研究テーマの新規性や独自性を、具体的に記入して下さい。*
研究・会合の 期待される効果 及び 採択後の展望	*研究・会合の期待される効果及び採択後の展望について、具体的に記入して下さい。*

3. 他の助成状況　*記載欄及びページ数は適宜増やして構いません。*

本件他の 助成状況	*本研究課題に関連して、科研費等の他へ申請しているものや採択されているものがある場合は、その内容を記入して下さい。（各機関内部の助成も含みます。）* 助成機関　○○○○ 制度名　○○○○ 助成額　○○○○円 課題名　「○○○○の研究開発」

4. 所属長の承諾

上記の貴研究所共同研究に申請することを承諾します。 申請者の所属長　役職 氏名　印

5. 申請者の研究業績　*記載欄及びページ数は適宜増やして構いません。*

通番	業　績
	過去５年間における、本研究課題に関連する主な論文及び学会等の発表について、それぞれ新しいものから順に記入してください。 *筆頭著者のものは通番の前に「＊」をつけてください。* *論文及び学会発表がない場合は、関連業務従事歴等について記入して下さい。* 【論文】 *著者、論文名、発表誌名、巻号、掲載ページ（DOI や URL）、発表年月、査読の有無*
＊1	○○，”○○○○○の研究”，XXXXX，1，pp.10-15，2015/7/1，査読あり
2	△△，○○，”△△△△の研究”，XXXXX，1，pp.10-15，2015/1/31，査読なし
	【学会等の発表】 *発表者、発表タイトル、会議名、発表年月、URL*
＊1	○○，”○○○○○の”，XXXXX，2015/7/1
2	△△，○○，”△△△△”，XXXXX，2015/1/31，Http://xxxx.xx

6.　共同研究経費

内訳

区分	内容	数量	金額	備考
旅費	*会合は、軽井沢国際高等セミナーハウスのみの旅費が対象です。*			
学会参加に係る経費	*会合は記載できません。*			
論文投稿料等	*会合は記載できません。*			
合計	*申請額上限は、戦略 150 万円、会合 80 万円、自由 100 万円です。*			

7.　共同研究者　*行数は適宜増やしてかまいません。*

本研究所の教員を含めて記入し、そのうち連絡担当教員の氏名の前に○印を付けて下さい。

本研究所の教員以外の各共同研究者について、当該共同研究に参加することを所属する長が承知していることを確認したうえで記入して下さい。

本研究所からの連絡は、原則として連絡先 e-mail 宛にお送りいたしますので忘れずに記入して下さい。

氏名（フリガナ）	所属機関・部局等・職名	連絡先
○△△△　△△ （△△△　△△） *（連絡担当者に「○」）*	国立情報学研究所・△△研究系・教授	TEL：00-0000-0000 e-mail：xx@xxxx
□□□□　□□ （□□□□　□□）	□□大学・□□部・准教授	TEL：00-0000-0000 e-mail：xx@xxxx
▲▲　▲▲ （▲▲　▲▲）	▲▲会社・▲▲部・研究員	TEL：00-0000-0000 e-mail：xx@xxxx
		TEL： e-mail：
		TEL： e-mail：
		TEL： e-mail：
		TEL： e-mail：
		TEL： e-mail：

「平成２９年度国立情報学研究所公募型共同研究　成果報告書（様式２）」の記入要領

成果報告書内に記載されたグレーの文字は削除し、黒字にて読みやすい文字サイズで記載ください。

【Ⅰ．基本情報】

（１）所属は、学部等や所属部局等まで記入して下さい。
（２）年齢は、平成３０年４月１日現在で記入して下さい。
（３）共同研究者は、会社員や学生等を含め、参加者全員の情報を記入して下さい。

【Ⅱ．研究・会合の成果概要】

（１）平成２９年度国立情報学研究所年報をはじめ、各種広報物や研究内容の問合せ時に使用するため、一般の方も分かる平易な文章で３００～５００字程度記入して下さい。

【Ⅲ．研究・会合の成果詳細】

（１）成果詳細について、具体的に記入して下さい。図表を挿入して構いません。PowerPoint等の資料も添付もできますが、本文にも必ず記入ください。（資料等を添付する場合は、Ⅲの資料であることが分かるファイル名にしてお送りください。）

【Ⅳ．競争的資金の応募、獲得に関する成果状況】

（１）本共同研究のステップアップとして、関連する競争的資金への応募状況、獲得状況を必ず記入してください。既に結果が出ているものは採択／不採択の別も記入し、これから応募予定のものも含めてください。

【Ⅴ．発表成果】

（１）論文発表、会議発表について項目に則して記入して下さい。論文発表には、会議予稿集、報告書を含みます。
（２）発表等がない場合は、その旨を記入して下さい。

【Ⅵ．共同研究者との連携状況】

（１）研究打合せや研究会等の実施状況、実施場所、参加者、期日等を記入して下さい。
（２）共同研究者が代表を務める研究会等への参加があれば、記入して下さい。

【Ⅶ．産業財産権（特許等）、実証実験・イベント実施等】

（１）本共同研究に係る特許等の出願、実証実験やイベントの実施があれば記入して下さい。

【Ⅷ．今後の展望】

（１）今後の展望について、共同研究の継続可否に関わらず記入して下さい。
（２）Ⅳにおいて競争的資金への応募をしなかった場合は、その理由と具体的にどのように次に繋げるのか記載して下さい。

【Ⅸ．上記項目に当てはまらない項目について】

（１）上記項目に該当しない活動内容等があれば記入してください。

様式２

平成２９年度国立情報学研究所公募型共同研究　成果報告書

【□戦略　□会合　□自由　】型 *（選択して下さい。）*

平成２９年度公募型共同研究　採択番号【　　】 *（採択通知の番号を記載して下さい）*

成果報告書内に記載されたグレーの文字は削除し、黒字にて読みやすい文字サイズで記載して下さい。
記載欄、ページ、表は、適宜増やして構いません。

Ⅰ．基本情報

（１）研究代表者 *（申請者）*

氏名			
所属	*部署等まで記入して下さい。*	性別	
職名		年齢	（H30.4.1 現在）

（２）NII 教員 *（連絡担当教員の氏名の前には、○印を付けて下さい。性別・年齢省略可）*

氏名			
所属	*研究系・センターまで記入して下さい。*	性別	
職名		年齢	（H30.4.1 現在）

（３）共同研究者 *（会社員、自営業、学生等を含め、全員分を記入して下さい。）*

氏名			
所属	*部署等まで記入して下さい。*	性別	
職名		年齢	（H30.4.1 現在）

氏名			
所属	*部署等まで記入して下さい。*	性別	
職名		年齢	（H30.4.1 現在）

Ⅱ．研究・会合の成果概要

平成２９年度国立情報学研究所年報をはじめとして、各種広報物や研究内容の問合せ時に使用するため、一般の方でも分かる平易な文章で記入して下さい。（３００～５００字程度）

Ⅲ．研究・会合の成果詳細

図表等を挿入して構いません。PowerPoint 等スライドの添付もできますが、本文も必ず記入して下さい。（添付する場合は、Ⅲの資料であることが分かるファイル名にして下さい。）

Ⅳ．競争的資金の応募、獲得に関する成果状況（不採択も含む）

本共同研究のステップアップとして関連する競争的資金への応募状況、獲得状況を記載してください。結果が出ているものは不採択の場合も記載してください。これから申請予定のものも記載してください。

年度	*平成２８年度／平成２９年度*
競争的資金名	*科学研究費助成事業　基盤研究（Ａ・Ｂ・Ｃ）等記載ください。*
状況	□応募予定　・　□応募中　・　□採択　・　□不採択・　□応募なし
研究課題名	*可能な範囲でご記載をお願いいたします。*
その他情報	*可能な範囲でご記載をお願いいたします。*

Ⅴ．発表成果

（1）論文発表（会議予稿集・報告書を含む）

枝番		査読の有無	有 ・ 無
論文タイトル			
著者､共著者名			
掲載雑誌名			
巻号数、 掲載ページ	*電子ジャーナルの場合は、DOI もしくは URL を記入して下さい。*		
機関リポジトリ掲載情報	有 ・ 無 *有の場合は、DOI／URL も記入して下さい。*		

（2）会議発表

枝番		査読の有無	有 ・ 無
実発表者名			
共同発表者名			
発表タイトル			
発表会議名			
会議主催者名			
会議開催日			
会議開催場所	*国名や州等まで記載して下さい。*		
発表スライド等の Web 情報	有 ・ 無 *有の場合は、DOI／URL も記入して下さい。*		

Ⅵ．共同研究者との連携状況

（1）研究打合せや研究会等の実施状況、実施場所、参加者、期日等

記入方法は任意です。別途、実施後に作成した報告書等の添付に代えることもできます。

（2）共同研究者が代表を務める研究会等への参加状況

記入方法は任意です。別途、実施後に作成した報告書等の添付に代えることもできます。

Ⅶ. 産業財産権（特許等）、実証実験・イベントの実施等

（1）産業財産権（特許等）

出願･取得の別	出願　・　取得
発明者	
権利者	
種類	
番号	
出願・取得 年月日	
国内外の別	国内　・　国外（国名：　　）

（2）実証実験・イベントの実施等

実施年月日	
題名	
実施内容･結果	
実施場所	

Ⅷ. 今後の展望

今後の展望について、共同研究の継続可否に関わらず記入して下さい。

Ⅸ. 上記項目に当てはまらない活動内容について

上記項目に当てはまらない活動内容がありましたら、記入して下さい。